

朝の館内放送

令和7年1月6日

あけましておめでとうございます、市長の中村健です。

この年末年始は9連休でしたが、皆さんリフレッシュはできたでしょうか。

さて、昨年末、「伝わる公文書作成マニュアル」を作成しました。

このマニュアルは、市民の方々に必要な情報を分かりやすく伝えるために、文書作成の改善を図ることを目的としています。

いくら内容が正確に書かれていても、独り善がりで分かりにくい内容の文書では、読み手に「理解できない」、「読む気にならない」という受け止め方をされてしまう恐れがあります。

公文書である以上、一定の体裁を整える必要はありますが、文書は「伝える」ことが目的ではなく、「伝わる」ことで意味を成すことを忘れてはいけません。

マニュアルでは、誰に向けた文書であるか考える、お役所言葉は使わない、まわりくどい言い方をしない、カタカナ語は注意して使うなど、文書を作成する上での心得も分かりやすくまとめられていますので、職員の皆さん個々でしっかり内容を確認しておいていただきたいと思います。

一言でいえば、読み手の立場になって考えるということです。

そして、これは文書作成に限ったことではありません。

私たちの仕事の一つひとつについて、市民の立場、受益者の立場に立って考えることも重要です。

役所の常識は、必ずしも市民の常識ではありません。

そのことを肝に銘じながら、本年も、市民福祉の向上、市政発展のために頑張ってくださいましょう。

以上で、朝の館内放送を終わります。